

10月1日は「福祉用具の日」

2002年に「福祉用具の日」が創設されて以来、毎年10月1日は全国各地で福祉用具の展示やセミナーなどのイベントなどが実施されている。

20世紀半ば以降、先進国から長寿化が進み、いまや新興国でも長寿化しつつある。長寿は人間による医療、福祉、科学技術の成果であるから、本来は喜ばしい、幸せなことなのだ。しかし高齢者や不幸にして障害者となった者の介護をどうするか、社会保障費の増大など、国民生活を揺るがしかねない問題も含まれている。

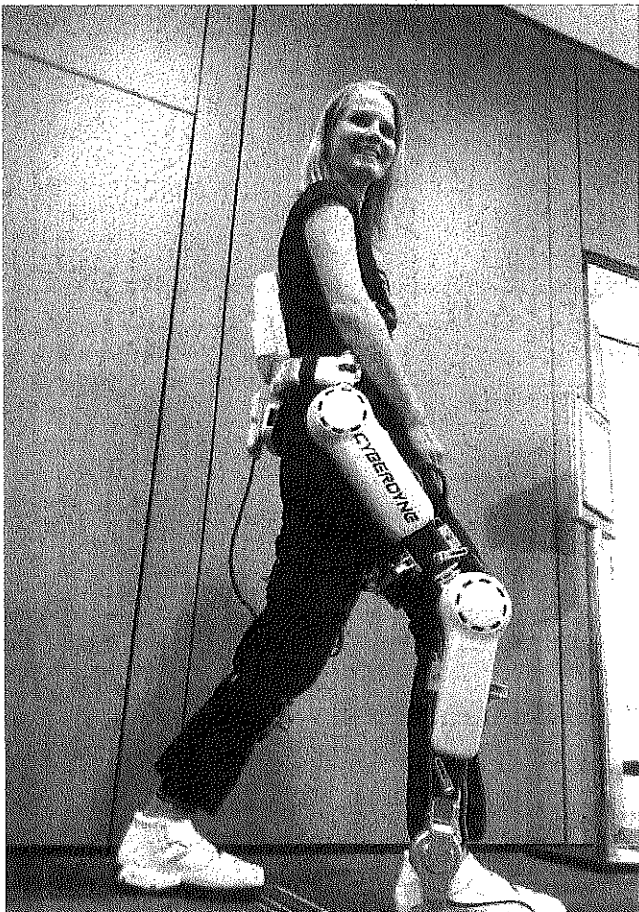
ならば加齢や障害、病魔による様々な問題は、人間が開発した道具や技術で克服していくのが人類の英知である。

介護ベッド、車いす、移乗機、器、IT技術を活かした機器や開発が進む介護ロボットなど様々な機器や用具を、介護する人、される人、双方の幸せをつくるために活かしていくべきではないだろうか。福祉用具が日本の超少子高齢社会を乗り切るための非常に重要なポイントであること、を疑う人はいない。内閣府のアンケートでも、国民は介護ロボット等に大きな期待

この分野で日本が、アジアに、世界に貢献する日も近い

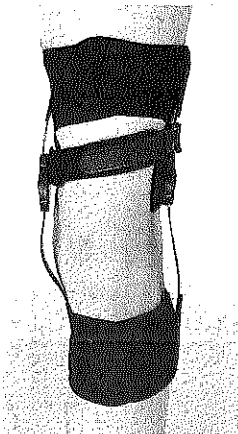
していることが判明している。2050年、国民の4割が65歳以上という「高齢者国家」となっても、日本は「先進介護国家」として誇れる国でありたい。国民が望む介護の普及には、乗り越えるべき多くのハードルがあるが、国や自治体、メーカーや福祉用具貸与事業者が力を合わせて取り組む必要がある。世界の誰も見たことがない大きな市場が日本に誕生するのである。そして、この分野で、日本が、アジアに、世界に貢献する日も近いのだから、その日を担うと期待されているのが福祉用具である。その人にマッチした福祉用具を選定する福祉用具専門相談員である。福祉用具専門相談員の質の向上が、福祉用具への信頼を高め、日本の介護を大きく飛躍させると期待されているのである。福祉用具専門相談員のレベルアップを目指して、福祉用具個別援助計画書が今年から義務付けとなり、研修幸せをつくるためにポイント制度も10月からスタートする。高齢社会における福祉用具が日本の超少子高齢社会を乗り切るための非常に重要なポイントであること、を代表する産業として、アジアに、世界に、誇れるまで高めていこう。

CYBERDYNE社のロボットスーツHAL®は国内では福祉用として活躍しているが、欧州で世界で初めてロボット医療機器として認証された同社医療用ロボットスーツHAL®は、脳・神経・筋系の機能改善治療を目的に欧州ですべて公的医療保険が適用されている。(5面)



NEDOの福祉用具実用化開発推進事業

(3面)



ふくせん。専門性の高い福祉用具専門相談員が見つかるサイト

真の専門職を育成し、質の高いサービス提供の環境づくりを目指して

福祉用具専門相談員の研修ポイント制度

福祉用具専門相談員の研修ポイント制度に関するサイトです。各相談員の研修履歴や所在地を知ることができます。

研修ポイント制度とは? ポイント対象研修のご案内 福祉用具専門相談員を探す

What's New	お知らせ
2014年09月08日	研修ポイント制度の概要について
2014年09月01日	【重要】研修の修了申請書の受付を開始しました
2014年07月09日	【重要】研修実施者への研修金を支払しました
2014年07月02日	【重要】研修実施者への研修金を支払しました
2014年06月14日	【重要】福祉用具専門相談員の研修センター小冊子「福祉用具専門相談員研修センター」

質の高い福祉用具レンタルサービスの実現には、福祉用具専門相談員のレベルアップが欠かせない。10月1日から「研修ポイント制度」がいよいよスタートする